

# 委員会報告

## 産業建設常任委員会先進地調査

### 香川県・徳島県の農業法人を視察

産業建設常任委員会は、平成十八年八月二十三日～二十四日に農業法人の先進地調査を行いました。

#### ◎調査の目的

農地の荒廃を防ぎ、地域農業の活性化を図るため、農業生産法人の組織化と活動を調査し、本町の集落営農・農業法人化



佐藤農園

#### ◎視察場所

香川県三豊市財田町  
農業法人 (有)林泉

の推進及び荒廃地の防止に役立てるため。

#### ◎企業理念

企業で水田農業の変革に臨む。

#### ◎調査の結果

組織化に向けて、後戻りできないように、個人の機械を全て売却するなど徹底した取り組みがなされていた。

米の販売も自ら開拓し、民間の給食業者などに有利で販売されている。

農業生産法人の重要性和、それに利潤を追求する企業経営（農業）の努力を実感した。

「林泉」では行動実践力のあるリーダーと若い人がうまくかみ合い、改めて、人づくりの重要性も感じた。

徳島県美馬市美馬町  
農業法人 (有)佐藤農園

美馬町は、典型的な中

山間地域で、高齢化が進み、佐藤農園のある坊間地区は、二十五戸のうち、専業農家は一戸である。

こうした中、県の補助事業、一三〇〇万円を受け、受委託作業を中心に取り組む「(有)美馬グリーンサービス」を五人で設立。その後平成六年に独立して、「(有)佐藤農園」を設立。

- 資本金……三〇〇万円
- 役員……二名
- 雇用者（パート）九名（福利厚生有り）
- 経営面積

水田……四畝  
ジャガ芋……一畝  
玉ねぎ……一畝  
モチ麦・トマト

水田の受委託では限界もあり、仕事も春と秋に集中するため、年間を通しての仕事を確保し、会社の経営を安定させるため、野菜の生産販売を重点に行っている。

販売先は三井物産をと

おしでの販売、大阪市内のスーパ、ホテル、ダイエーなどである。

年間通じて注文先の需要に応じるため、「有限責任事業組合（LLP）あわアグリ」を県内の三農業法人と連携して設立。

農地の高低差（六〇～九〇〇坪）を利用して連続出荷を行っている。

現在は一〇〇種類を越す栽培品目を「あわアグリ」ブランドとして大阪市内を中心に出荷している。米も全て直販で、検査も自分たちで行っている。

#### ◎調査の結果

この会社は販売先を開拓し、需要に応える作物が供給できる体制を築いている。農業生産法人は、経営が成り立ち、利益の出る経営が不可欠である。

## 福祉文教常任委員会 グループホーム・保育所を視察

八月二十二日、グループホーム安田いこいの家」を訪問調査。

三原所長、横山事務長より施設の説明を受けた。

入居者は八名（九月より一名増え九名の予定）。

年齢は六十代一名、八十代五名、九十代二名、介護度は、要介護①→二名

同②→三名、同③→二名、同④→一名、職員は、所

長、事務長、主任一名、

看護師一名、介護福祉士

一名、ホームヘルパー四名（パート二名）、ボランティア四名で運営。

六名の常任委員との質疑の主な点。

①委員 介護度が良くなる方があるか

回答 おられるが、一時的、町の認定とは違う介護度に思える

こともある。

②委員 なぜNPO法人なのか

回答 資本金なしで立ち上げるのに一番簡単だった。

③委員 入居費用は一部でいいの

回答 一割でいい。施設の経営は、きびしい運営です。

④委員 入居者八名くらいで経営が成立つか

回答 ユニット九名までと国が定めている。ぎりぎり、所長や事務長はボランティアの部分もある。

歳児十二名の計四十六名。

給食は、二歳児以下が完全給食、三歳児以上は副食給食（月に米一・五握持参）。

送迎は保護者が基本だがタクシーも利用（予算三二〇万円）。

②油木保育所 職員は全員正職

で、いずみ保育所と同数。入所児は、二歳児三名、三歳児四名、四歳児十七名、五歳児十七名の計五十一名。二歳児のみ完全給食、三歳児以上はご飯のみ持参。遠隔地は、スクールバスまたはタクシー（昨年は八二万円）利用。二歳未満の保育は、スペースがないのでできない。

③とよまつ保育所 職員は、保育士資格

所長、保育士四名で正職の調理員はいない。入所児は、二歳児五名、三歳児八名、四歳児九名、五歳児十二名の計三十四名。

二歳児の受け入れは、平成十五年四月

から（増築後）。土曜日は、保護者との触れ合いのため、三十四名中、十三名くらいが休む。四歳・五歳を対象に調査したが、夜更かしをした児童は朝食が十分とれていない。

④くるみ保育所 職員は、所長、保

育士二名、正職の調理員はいない。三歳児七名、四歳児七名、五歳児七名の計二十一名。給食は、副食給食で米を持参。スクールバスも遠隔地は利用。

遊具の修繕必要（九月定例会で補正）。国道一八二号線からの進入路が危険（特に凍結時）。

⑤こばたけ保育所 職員は、所長、保

育士四名で、正職の調理員はいない。入所児は、二歳児五名、三歳児十八名、四歳児十名、五歳児十九名の計五十二名。スクールバスの利用はなし。

昭和五十四年度築の施設であり、雨漏り箇所が多い（屋根の改修を含め修繕工事中）。



グループホーム・安田 いこいの家



いずみ保育所視察

同日、神石高原町の五つの保育所を訪問調査。

### ①いずみ保育所

職員は、所長、保育士四名、調理員一名。入所児は、〇歳児一名、一歳児二名、二歳児六名、三歳児十二名、四歳児十三名、五

同日、神石高原町の五つの保育所を訪問調査。

### ③とよまつ保育所

職員は、保育士資格所長、保育士四名で正職の調理員はいない。入所児は、二歳児五名、三歳児八名、四歳児九名、五歳児十二名の計三十四名。

### ④くるみ保育所

職員は、所長、保育士二名、正職の調理員はいない。三歳児七名、四歳児七名、五歳児七名の計二十一名。給食は、副食給食で米を持参。スクールバスも遠隔地は利用。

### ⑤こばたけ保育所

職員は、所長、保育士四名で、正職の調理員はいない。入所児は、二歳児五名、三歳児十八名、四歳児十名、五歳児十九名の計五十二名。スクールバスの利用はなし。